

三井住友信託銀行 (2021 年グリーンボンド)

契約の種類： アニュアルレビュー

日付： 2021 年 9 月 13 日

担当者：

Kosuke Kanematsu, kosuke.kanematsu@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

Marie Toyama, marie.toyama@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

はじめに

2021 年 3 月、三井住友信託銀行株式会社（以下、「三井住友信託」）は 再生可能エネルギー、エネルギー効率、クリーンな運輸、汚染の防止と管理、グリーンビルディングに関連するプロジェクトへのファイナンス又はリファイナンスを目的とするグリーンボンド（2026 年 3 月満期の 5 年債 500 百万米ドル）を発行し（以下、「グリーンボンド」）、その調達資金を 2021 年 3 月末時点で合計 10 件の再生可能エネルギーに係るプロジェクトに充当しました。2021 年 9 月、三井住友信託はサステナリティクスにグリーンボンドを通して資金の充当を受けたプロジェクトが三井住友信託銀行グリーンボンドフレームワーク（以下、「フレームワーク」）¹ で設定された資金使途のクライテリアやレポートの指標に合致しているかについて評価を委託しました。

評価基準

サステナリティクスは、以下の要件について、2021 年 3 月 31 日時点で調達資金の充当を受けたプロジェクトを評価しました。

1. フレームワークで設定された調達資金の使途及び適格クライテリアとの適合
2. フレームワークで設定された各資金使途クライテリアに対する主要業績評価指標（KPI）に関する報告

充当を受けた調達資金の使途のカテゴリーに対する適格クライテリア及び関連する KPI を表 1 に示します。

表 1：調達資金の使途、適格クライテリア及び主要業績評価指標（KPI）

調達資金の使途	適格クライテリア	主要業績評価指標（KPI）
再生可能エネルギー	太陽光エネルギー、太陽熱エネルギー、風力エネルギー、地熱エネルギー（直接排出量が 100g-CO ₂ /kWh未満のプロジェクトに限る）、バイオマスエネルギー（食品と競合しない持続可能な原料及び／又は廃棄物に限り、ならびに直接排出量が 100g-CO ₂ /kWh 未満のプロジェクトに限る）、ならびに発電能力が25メガワット以下の小規模流れ込み式水力又は調整池のない河川水力の再生エネルギーの発電・送電インフラ、施設・機器の取得、開発、建設および運営。	CO ₂ 排出の削減相当量（トン単位）

発行体の責任

三井住友信託は、プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトを含め、調達資金の充当を受けたプロジェクトの詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

¹ 三井住友信託銀行グリーンボンドフレームワーク（参考和訳）：
https://www.smth.jp/-/media/th/sustainability/greenbond/pdf/framework4_jp.pdf

独立性と品質管理

投資家に環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界をけん引するサステナリティクスは、三井住友信託のグリーンボンドによる調達資金の使途を検証しました。本契約の一環として、同社のフレームワークとの適合性の確認のため、三井住友信託の従業員からの文書の収集及び確認を行いました。

サステナリティクスは、調査にあたって、対象プロジェクトに関して三井住友信託から提示された情報と事実に依拠しています。三井住友信託が不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調査結果、結論が正確性を欠く場合、サステナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステナリティクスは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、審査結果の評価にあたっては社内のサステナビリティ・ボンド・レビュー委員会（Sustainability Bonds Review Committee）が監督を行いました。

結論

限定的保証プロセスに基づき検討した結果²、すべての重要な側面において、三井住友信託のグリーンボンドによる調達資金の充当を受けたプロジェクトが、フレームワークで規定された調達資金の使途及びレポーティングクライテリアに適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。

調査結果の詳細

表 2：調査結果の詳細

適格クライテリア	調査手順	調査結果	特定された過失または例外
資金使途 クライテリア	2021年3月31日時点でグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、フレームワーク及び上の表1に示されている資金使途クライテリアとの適合性を検証。	審査したすべてのプロジェクトは資金使途クライテリアに適合していました。	該当なし
レポーティング クライテリア	2021年3月31日時点でグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、プロジェクトによるインパクトがフレームワーク及び上の表1に示されているKPIと適合する形で報告されたかを検証。報告されたKPIの一覧は参考資料2を参照。	審査したすべてのプロジェクトは関連するKPIについてレポーティングクライテリアに従って報告されていました。	該当なし

² サステナリティクスの限定保証プロセスには、発行体の提供する、調達資金の充当を受けているプロジェクトの詳細に関する文書（プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトなど）の調査が含まれます。発行体には正確な情報を提供する責任があります。サステナリティクスはプロジェクトの現地調査は実施していません。

参考資料

参考資料 1：グリーンボンドの調達資金の充当状況

調達資金の用途のカテゴリー	サブカテゴリー	プロジェクト数	エクエーター原則カテゴリー	融資契約日	調達資金の充当額 (百万米ドル)
再生可能エネルギー	太陽光	10	カテゴリーB： 10 プロジェクト	グリーンボンドの発行日から遡って 24 カ月以内： 10 プロジェクト	366 ³
充当額合計：					366
未充当額合計：					134
グリーンボンド発行による調達額合計：					500

参考資料 2：プロジェクトのインパクト一覧

調達資金の用途のカテゴリー	サブカテゴリー	プロジェクト数	グリーンインパクト： CO ₂ 排出削減量の合計 (t-CO ₂ /年)	グリーンインパクトのうち 三井住友信託に 帰属するもの (t-CO ₂ /年)
再生可能エネルギー	太陽光	10	192,711	102,008

³ 2021 年 3 月 31 日時点の為替レート（1 米ドル=110.65 円）にて米ドル換算した値

免責事項

© Sustainalytics 2021 無断複写・複製・転載を禁ず

本書に包含又は反映されている情報、手法及び意見は、サステイナリティクス及び／又はその第三者供給者の所有物（以下、「第三者データ」）であり、サステイナリティクスが開示した形式及びフォーマットによる場合又は適切な引用及び表示が確保される場合のみ第三者へ提供されます。これらは、情報提供のみを目的として提供されており、（1）製品又はプロジェクトの保証となるものではなく、（2）投資助言、財務助言又は目論見書となるものではなく、（3）有価証券の売買、プロジェクトの選択又は何らかの種類の商取引の実施の提案又は表示と解釈してはならず、（4）発行体の財務業績、金融債務又は信用力の評価を表明するものではなく、（5）いかなる募集開示にも組み込まれておらず、組み込んではなりません。

これらは、発行体から提供された情報に基づいたものですので、これらの商品性、完全性、正確性、最新性又は特定目的適合性は保証されていません。情報及びデータは、現状有姿にて提供されており、それらの作成及び公表日時点のサステイナリティクスの意見を反映しています。サステイナリティクスは、法律に明示的に要求されている場合を除き、いかなる方法であっても、本書に含まれた情報、データ又は意見の使用に起因する損害について一切責任を負いません。第三者の名称又は第三者データへの言及は、かかる第三者に所有権があることを適切に表示するためのものであり、その後援又は推奨を意味するものではありません。当社の第三者データ提供者のリスト及びこれら各者の利用規約は、当社のウェブサイトに掲載されています。詳しくは、<http://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers> をご参照ください。

発行体は、自らが確約した内容の確実な遵守とその証明、履行及び監視について全責任を負います。

英語版と翻訳版との間に矛盾もしくは不一致が生じた場合は英語版が優先されるものとします。

サステイナリティクス（モーニングスター・カンパニー）

サステイナリティクスは、モーニングスター・カンパニーであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査、評価及び分析を行う独立系機関であり、責任投資（RI）戦略の策定と実施について世界中の投資家をサポートしています。ESG 及びコーポレート・ガバナンスに関する情報及び評価を投資プロセスに組み込んでいる、数百に及ぶ世界の主要な資産運用会社や年金基金を支援しています。また、多国籍企業や金融機関、各国政府を含む世界の主要な発行体に、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドのフレームワークに対する信頼性の高いセカンドパーティ・オピニオンを提供しています。2020 年には、Climate Bonds Initiative により、3 年連続で「気候ボンドのレビューにおける最大の認証機関」に選ばれたほか、Environmental Finance 誌により、2 年連続で「最大の外部レビュー機関」に認定されました。詳しくは、www.sustainalytics.com をご参照ください。



Named
2015: Best SRI or Green Bond Research or Rating Firm
2017, 2018, 2019: Most Impressive Second Opinion Provider